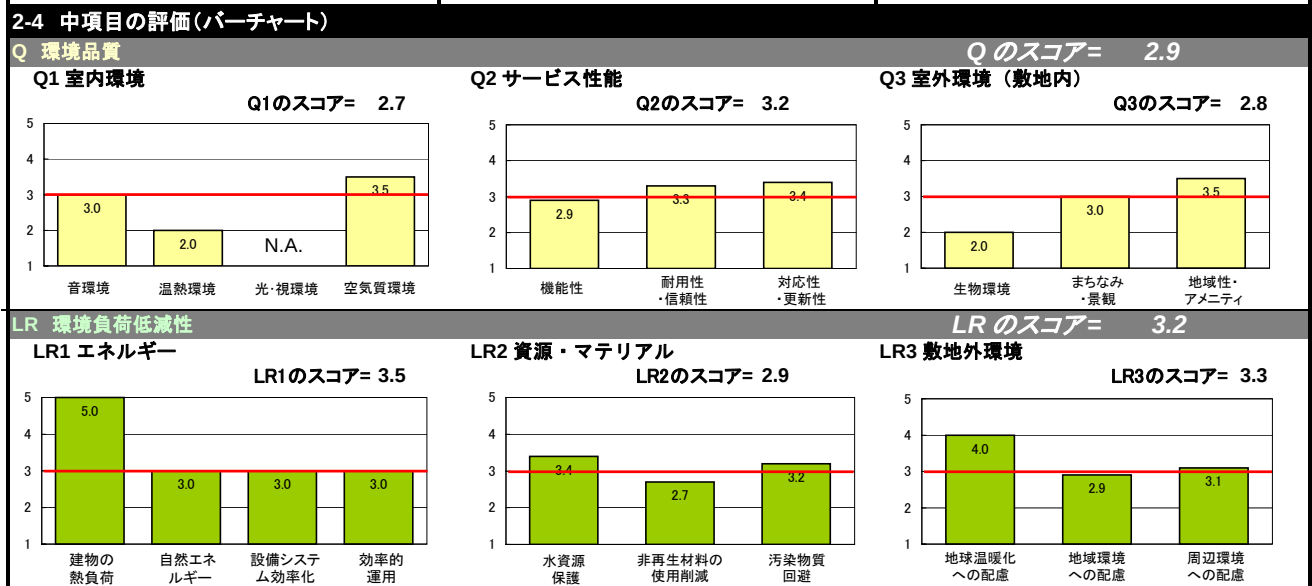
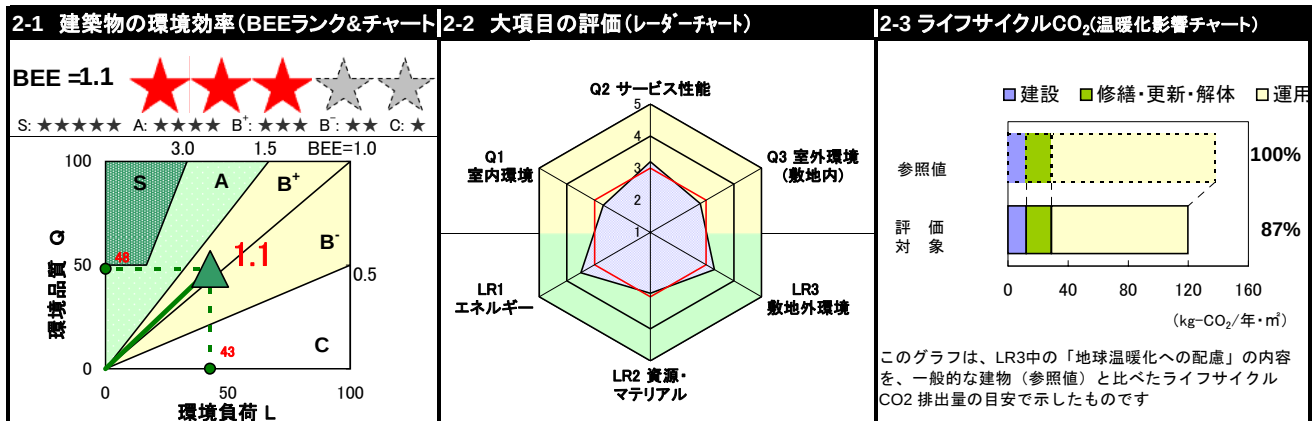


CASBEE[®] 新築[簡易版] 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 四条大宮計画 新築工事	階数	地上3F
建設地	京都府京都市中京区壬生坊城町3	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人数・従業員: 3人、参列者: 100人 人	
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集会所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	1900年1月 予定	評価の実施日	2011年2月10日
敷地面積	2,118 m ²	作成者	
建築面積	1,204 m ²	確認日	2011年2月10日
延床面積	3,243 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合 特になし	その他 特になし	
Q1 室内環境 窓SC=0.454窓U=4.5、外壁U=0.51、屋根U=0.32、ビードルU=0.3であり、外皮の良好な断熱性能を有する。内装材はF☆☆☆☆を採用。	Q2 サービス性能 外壁仕上材、設備配管など、建物の耐久性に配慮した適切な建材選定をしている。設備・空間のプランニングの自由度が十分に取られている。	Q3 室外環境(敷地内) 中・高木の緑地やビロティ等を設けることにより、日陰の形成に努める。
LR1 エネルギー 建物の断熱を適切に配し、外壁や窓を通しての負荷に配慮した計画としている。	LR2 資源・マテリアル 節水コマに加えて、節水便器、自動水栓などを用いている。PS・EPS・天井内配管とすることで解体時にも分別が容易で環境負荷に配慮している。消火設備にハロン消火剤を使用していない。	LR3 敷地外環境 十分な断熱性能の採用によりLCCO ₂ 削減に寄与している。敷地内に十分な駐車・駐輪スペース・車路スペースを用意しており、周辺道路への影響に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい